

第60回大村市民スポーツ大会実施要項

1 趣 旨

真に市民がスポーツに親しみ、進んで参加し、自ら健康づくりをする気運を高め、市民相互の交流と親睦を図る。

2 主 催

大村市

3 主 管

大村市町内会長会連合会、大村市ソフトボール協会、大村市バレーボール協会、大村市グラウンド・ゴルフ協会、大村市ボウリング協会、大村市サッカー協会、大村市ペタンク協会、大村市スポーツ推進委員協議会

4 大会期日

令和8年10月11日（日）

（1）各競技の選手は、体育文化センター（メモリード・シーハットおおむら）に集合する。
開館は8時30分（時間前の上場はできない。）

（2）雨天の場合について

- ① 開会式は、バレーボール、ソフトバレーボールのみで予定どおり実施する。
- ② 屋外競技については、11日に実施できない場合は12日（月）に順延する。
なお、その後の延期はしない。
- ③ 午前7時に態度決定する。

※ 問い合わせについては、各チームの責任者が事務局（スポーツ振興課）に行うこと。

【問合せ先】大村市役所スポーツ振興課 ☎53-4111（内線187）

【開会式】

○場所

大村市体育文化センター（メモリード・シーハットおおむら）
メインアリーナ

○開始時間

午前9時00分（予定）

【閉会式】

各競技終了後、各会場にて行う。

5 各競技会場

ソフトボール	大村市野球場、大村市補助グラウンド、大村市総合運動公園
バレーボール	大村市体育文化センター（メインアリーナ）
ソフトバレーボール	大村市体育文化センター（サブアリーナ）
グラウンド・ゴルフ	大村市陸上競技場
ペタンク	大村市森園運動広場
ボウリング	大村 J ボウル
サッカーPK	大村市古賀島スポーツ広場

6 種 目

○正式競技

- ・ソフトボール
- ・バレーボール（女子）
- ・ソフトバレーボール（女子）

○オープン競技

- ・グラウンド・ゴルフ（団体の部）
- ・ボウリング（一般・会員の部）
- ・サッカーPK大会（U－10・U－12の部）
- ・ペタンク（チーム別）

7 抽 選 会

○正式競技

抽選会には各出場チームから1名以上3名以内で出席すること。

【抽選日時】令和8年9月25日（金）19時～

【会 場】大村市総合福祉センター（プラットおおむら）
4階大会議室A

※ 説明会終了後、抽選会を行います。

○オープン競技

別に定める要項による

8 チーム編成について

(1) ソフトボールの部

- ① 大村・西大村・竹松地区からそれぞれ3チーム以内、その他の地区からそれぞれ2チーム以内で、選手の性別は問わないこととする。
 - (ア) 各地区内での合併を認める。
- ② 選手は、18才～29才・30才代・40才以上とし、それぞれ1名以上出場すること。選手交代も同様とする。
 - (ア) 高齢者は、低齢者の代わりに出場することができる。
 - (イ) チームの登録は25名以内とする。
- ③ 出場資格
 - (ア) 年齢18才以上の者（高校生は除く）。
 - (イ) 年齢基準日は、令和8年10月11日。
 - (ウ) 町内在住（住民登録）認定は、令和8年10月1日現在とする。
- ④ 選手の背中に番号をつけること。番号はゼッケンで縫いつけてもよい。
※ユニホームに町内名が入っていることが望ましい。
背番号の下に18才～29才（赤）・30才代（青）・40才以上（黄）の色リボンをつけること。なお、色リボンは危険防止のためピンでは留めず縫いつけること。
- ⑤ ベンチには、監督、コーチ、マネージャー、責任者と規定の登録選手のみ入ることができる。
- ⑥ 監督、コーチ、マネージャー、責任者は、同一地区民であれば男女を問わない。

(2) バレーボールの部

- ① 大村・西大村・竹松地区からそれぞれ3チーム以内、その他の地区からそれぞれ2チーム以内で、選手は女性のみとする。
 - (ア) 各地区内での合併を認める。
- ② 選手は、18才～29才・30才代・40才以上のそれぞれ1名以上が常時コート上にいなければならない。
 - (ア) 高齢者は、低齢者の代わりに出場することができる。
 - (イ) チームは、9名の競技者及び6名以内の交代競技者とする。ただし、交代は1セットにつき6回までとする。
- ③ 出場資格
 - (ア) 年齢18才以上の者（高校生は除く）。
 - (イ) 年齢基準日は、令和8年10月11日。
 - (ウ) 町内在住（住民登録）認定は、令和8年10月1日現在とする。
- ④ 選手の胸部に高さ10cm以上の番号、背部に高さ15cm以上の番号をつけること。番号の字幅は2cm以上とする。番号はゼッケンでもよい。
※ユニホームに町内名が入っていることが望ましい。
 - (ア) 背番号の下に18才～29才（赤）・30才代（青）・40才以上（黄）の線を引くか色リボンをつけること。なお、色リボンは危険防止のためピンで留めず縫いつけること。
- ⑤ ベンチには、監督、コーチ、マネージャー、責任者と規定の登録選手のみ入ることができる。
- ⑥ 監督、コーチ、マネージャー、責任者は、同一地区民であれば男女を問わない。

(3) ソフトバレーボールの部

- ① 大村・西大村・竹松地区からそれぞれ3チーム以内、その他の地区からそれぞれ2チーム以内で、選手は女性のみとする。
 - (ア) 各地区内での合併を認める。
- ② 選手は、18才～29才・30才代・40才以上のそれぞれ1名以上が常時コート上にいなければならない。
 - (ア) 高齢者は、低齢者の代わりに出場することができる。
 - (イ) チームは、4名の競技者及び6名以内の交代競技者とする。ただし、交代は1セットにつき4回までとする。
- ③ 出場資格
 - (ア) 年齢18才以上の者（高校生は除く）。
 - (イ) 年齢基準日は、令和8年10月11日。
 - (ウ) 町内在住（住民登録）認定は、令和8年10月1日現在とする。
- ④ 選手の胸部に高さ10cm以上の番号、背部に高さ15cm以上の番号をつけること。番号の字幅は2cm以上とする。番号はゼッケンでもよい。

※ユニホームに町内名が入っていることが望ましい。

 - (ア) 背番号の下に18才～29才（赤）・30才代（青）・40才以上（黄）の線を引くか色リボンをつけること。なお、色リボンは危険防止のためピンで留めず縫いつけること。
- ⑤ ベンチには、監督、コーチ、マネージャー、責任者と規定の登録選手のみ入ることができる。
- ⑥ 監督、コーチ、マネージャー、責任者は、同一地区民であれば男女を問わない。

9 試合の方法

(1) ソフトボールの部

- ① 試合はトーナメント方式で実施する。
- ② 2026 年度の日本ソフトボール協会スローピッチ規則に準ずる。
- ③ 使用球は、ゴム製検定 12 インチ球（ナイガイ製）とする。
- ④ 金属製のスパイクの使用を禁止する。（サッカーのスパイクも使用禁止とする）
- ⑤ 捕手は、必ずスロートガード付マスクをつけること。
- ⑥ 試合時間は 60 分とし、同点の場合、8 回からタイブレーカールールを適用する。
- ⑦ エキストラヒッター制（EH 制）を適用することができる。
- ⑧ ユニホーム番号は 1～99 とする。
監督：30 番 コーチ：31 番・32 番 主将：10 番
- ⑨ 審判員への抗議は、監督のみ行うことができる。
- ⑩ 審判（塁審 2 名）は、準々決勝までチームから 2 名出すこと。
- ⑪ 下記の点差が生じた場合は、コールドゲームを適用する。
（ア） 3 回に 15 点差以上
（イ） 4 回に 10 点差以上
（ウ） 5 回以降に 7 点差以上
- ⑫ 試合の途中において規定に違反した選手の出場が判明した場合には、相手チームの勝利とする。
- ⑬ 試合終了後の異議は認めない。

(2) バレーボールの部

- ① 予選はリンクリーグ、決勝はトーナメント方式で実施する。
- ② 2026 年度日本バレーボール協会 9 人制競技規則に準ずる。
- ③ コートの広さは 9×18m、ネットの高さは 2m05 c m、ボールは 4 号カラーボール（モルテン製）とする。ただし、両チームがチーム所持の白ボールを試合球とすることに合意した場合、白ボールの使用も可とする。
※ 主催者はカラーボールのみ用意する。
- ④ 監督、コーチ、マネージャーは、規定のマーク（監 C M）を左胸に、主将は、幅 2 c m、長さ 8 c m のユニホームの色と異なった色のマークを胸番号の下につける。
責任者は、責任者と記載したリボンを左胸につける。
- ⑤ 審判員への質問は、ゲームキャプテンのみ行うことができる。
- ⑥ 予選は同リーグの試合をしていないチームから、決勝トーナメントは前試合の負けたチームから、補助員（線審 4 名、記録 2 名、点示 2 名）を出すこと。
なお、決勝トーナメントの第 1 試合については、予選敗退したチームから出すこと。
- ⑦ 試合の途中において規定に違反した選手の出場が判明した場合には、その時点で相手チームの勝利とする。
- ⑧ 試合終了後の異議は認めない。

(3) ソフトバレーボールの部

- ① 予選はリンクリーグ、決勝はトーナメント方式で実施する。
- ② 2026 年度日本バレーボール協会ソフトバレーボール競技規則に準じる。
- ③ コートの広さは、13.4m×6.1mのバドミントンコートとする。ネットの高さは、2m、ボールは、日本バレーボール協会の検定球（ミカサ製）とする。
- ④ 監督、コーチ、マネージャーは、規定のマーク（監 ㉔ ㉕）を左胸に、主将は、幅 2 c m、長さ 8 c mのユニホームの色と異なった色のマークを胸番号の下につける。
責任者は、責任者と記載したリボンを左胸につける。
- ⑤ 審判員への質問は、ゲームキャプテンのみ行うことができる。
- ⑥ 審判員は相互審判とする。予選は同リーグの試合をしていないチームから、決勝トーナメントは前試合の負けたチームから、審判員（主審、副審、線審 2 名、点示 2 名以内）を出すこと。
なお、決勝トーナメントの第 1 試合については、予選敗退したチームから出すこと。
- ⑦ 試合の途中において規定に違反した選手の出場が判明した場合には、その時点で相手チームの勝利とする。
- ⑧ 試合終了後の異議は認めない。

10 その他

- (1) グラウンド・ゴルフ、ボウリング、サッカーPK、ペタンク大会のオープン競技の部は、別に定める要項のとおりとする。
- (2) 自治会活動損害保険等の加入を確認しておくこと。
- (3) 負傷した場合は、応急処置のみ行い、主催者は一切責任を負わない。